



日本共産党区議会議員

こんにちは  
伊藤和彦です

自宅 足立区花畑6-20-1 電話3859-6952  
足立区役所 電話3880-5111(内線4650~4654)  
日本共産党区議団 直通3880-5770  
<http://www5.familie.ne.jp/~k-itou/index.html>

# あだちワークセンターが 存続します



## 区民の願いが実現

4月から「あだちワークセンター」はどうなるの。区民から問い合わせがあった「あだちワークセンター」が存続されました。

民主党政権の事業仕分けで予算が廃止になり、足立区役所北館2階の「あだちワークセンター」が存続の危機「になつて」いることを以前二ニュースでお知らせしましたが、このほど行政や日本共産党区議団の繰り返し行ってきた国と都に対し、あだちワークセンターの存続を要請 実現しました。

あだちワークセンターは平成15

年度より高齢者職業相談室として発足しました。当時はハローワーク足立の出張所として常勤1名、非常勤7名体制でオンラインにより、相談業務を行って来ました。

その後、小泉内閣の構造改革で年間就職人数が2500以下は廃止するとの方針がありました。中小企業が大半で低所得者が多い足立区の雇用情勢を鑑みて、高齢者職業相談室として存続されてきました。

平成20年度の就職人数は1154人ですが、ハローワーク足立全体の実績が8455人であるので、その14%をあだちワークセンターが占めています。

今年度の来客者は一日平均190人で、20年度が146人であったので、大きく利用者がのびています。

足立区は21年2月、5月、11月にそれぞれ3日間、ハローワークとの共催で雇用と生活の総合相談を実施しています。

あだちワークセンターは区役所内にあるため、福祉や健康、税金や多重債務などの様々な区民相談に対応しています。

区はワークセンターの存在を前に職員を増強し、常設のワンストップサービスの窓口を設置すると第4回区議会定例会の中で日本



足立区役所北館2階にある あだちワークセンター

共産党の質問に答弁していました。

しかし、事業仕分けでは高齢者職業相談室はハローワークとの二重行政で無駄と決め付け、来年度予算の削減を決定しました。

予算が廃止されるとハローワーク足立から派遣されていた職員も来なくなり、足立ワークセンターの運営にとつて痛手になります。さらに現在でも溢れているハローワーク足立の本体業務がさらに混雑することが予想されます。

23区の中で同事業を実施しているのは江戸川区と足立区だけであり、二区は厚生労働省、東京都労働局に存続の要請書を提出し、区民の願いが実現しました。

### 足立区

### 雇用・生活・こころと 法律の総合相談会

雇用や生活などの不安や悩みをどこにどう話したらいいのかわからない、そういう方のための相談窓口です。お気軽にご利用ください。公的サービスなど、相談内容に応じて案内します。

3月8日(月)～12日(金)まで

午前9時から午後5時(相談の受けつけは午後4時半まで (あだちワークセンター向かい))

受け付け場所 区役所北館2階 特設窓口

お問い合わせはコールあだち

3880-0039

### 生活相談・法律相談

お気軽にお電話ください

相談は無料です

法律相談は弁護士をご紹介します

日本共産党足立区議団

3880-5770

伊藤和彦 自宅

3859 6952

伊藤和彦 携帯電話

070-6642 2851





# 唯一の野党として 住民のいのち・くらしを守る砦として 果たしてきた3つの役割



## 日本共産党区議団



近藤自公公民区政は、「区財政は大変」と強調はしても区民のくらしの大変さには目を向けず。国保も後期高齢者医療も値上げ。認可保育園の不承認は1300人、認可保育園はつくらず。学校は統廃合。特養待機者は3100人ためこんだお金はとりくずしても過去最高水準の860億円。一方「特定企業にいたれりつくせり」、相続税対策の用地はどんどん購入。お金がないのではなくつかい方が間違っています。

認可保育園の不承認は1300人、認可保育園はつくらず。規模保育室や「子育て応援隊月ぎめ預かり事業」など、新たなメニューは乱発しても、他自治体のような計画的な認可保育園建設には消極的です。学校は統廃合。35人学級の公約も反故に。山中湖林間学園も廃止。区長は35人学級を公約していますが、35人学級どころか、都がやるというっている39人学級にすら踏み出そうとしていません。特養待機者は3100人。「重度の認知症の要介護3の母親を働いている一人息子が『一人で置いていけない』と特養を申し込んだ」こんなケースで、これでも優先度が低いCランクです。優先度が高いAランクの待機者だけで1800人です。ためこんだお金はとりくずしても過去最高水準の860億円。

区議会では国政と違い自民・公明だけでなく民主党も与党です。唯一の野党として、住民のいのちと暮らしを守る砦、駆け込み寺として、かけがえのない3つの役割を果たしてきました。

**その1** 唯一の野党としての存在意義

近藤区政が誕生して3年、区長は目先のパフォーマンス、耳障りのいい言葉はくり返しますが、こんな事実、ご存知でしょうか。「区財政は大変」と強調はしても区民のくらしの大変さには目を向けず。国保も後期高齢者医療も値上げ。国保料は、5年ぶりの大幅値上げです。



認可保育園の不承認は1300人、認可保育園はつくらず。規模保育室や「子育て応援隊月ぎめ預かり事業」など、新たなメニューは乱発しても、他自治体のような計画的な認可保育園建設には消極的です。学校は統廃合。35人学級の公約も反故に。山中湖林間学園も廃止。区長は35人学級を公約していますが、35人学級どころか、都がやるというっている39人学級にすら踏み出そうとしていません。特養待機者は3100人。「重度の認知症の要介護3の母親を働いている一人息子が『一人で置いていけない』と特養を申し込んだ」こんなケースで、これでも優先度が低いCランクです。優先度が高いAランクの待機者だけで1800人です。ためこんだお金はとりくずしても過去最高水準の860億円。

これより多かつたのは、区政史上昨年、今年だけです。一方「特定企業にいたれりつくせり」、相続税対策の用地はどんどん購入。竹ノ塚駅東口の個人ビル(古庄ビル)の半地下にあるコインパーキングの「公共駐車場」。運営してもらっているからと特定事業者が毎年4000万円受け取る仕組み。旧区役所跡の天空劇場と会議室は使っても使わなくても毎年9800万円、20年間入る仕組み。伊興と平野の「相続税対策」で生じた土地を計8億円以上もかけて購入。もし、日本共産党の議席がなければ、みんなが与党ですから、区民が知ることさえなかったかもしれせん。

**その2** 現実政治を動かす

第二番目に、住民の運動に支えられながら、論戦で区を追いつめ、多くの実績を上げ、現実政治を動かす役割を果たしてきました。

例えば雇用問題、新年度からついに区役所3階に雇用と生活の総合相談窓口が誕生します。数年前、日本共産党が「雇用対策」「若者の雇用」を訴えると、それは東京都の仕事だと、冷たく拒否、与党からもヤジが飛びました。しかし、あきらめずにねばり強く要求し、ヤングジョブスポットを存続、若者サポートステーションへと発展。ワークセンター足立も庁舎内にできました。2年前から雇用情勢が悪化し、「生活と雇用」のワンストップサービス、総合相談窓口を求め、今日に至りました。

**その3** 住民のSOSにこたえる相談相手

第三は、住民のSOSにこたえる駆け込み寺、相談相手としての役割です。この一年間7人の議員団で2524人の相談を受け、取り組んできました。特に最近の相談は深刻で、「出産間際なのに住まいも失い途方に暮れている」「手元に1円もない、具合が悪いが病院にも行けない」など連日、緊急の相談が区議団控室に飛び込んできます。もし、日本共産党と出会うていなかったら、この人の運命はどんなになっていたのか、日本共産党の議員でよかったと日々感じながら活動しています。

(伊藤 和彦)